

「スポーツを活用したまちづくり」の推進

川崎はスポーツも盛んです。
 多彩なスポーツイベントには多くの市民が参加しています。
 また、川崎をホームタウンとするスポーツのトップチームやトップアスリート達の活躍は、川崎を全国にアピールし、市民に元気を与え、川崎への愛着や誇りを育みます。

(単位:千円)

サッカー



市民クラブ「川崎フロンターレ」の支援と応援を通して、市民の連帯感を深めるとともに、スポーツ振興・青少年の健全育成などを進めます。

川崎フロンターレとの連携事業	5,171
川崎フロンターレ後援会の支援	21,077
地域交流イベント等の実施 (麻生区)	1,200

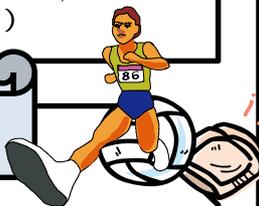
アメリカンフットボール



川崎で開催された「第3回アメリカンフットボールワールドカップ」を契機に、競技団体、地域、市民と連携して、地域活性化や青少年の健全育成など、アメリカンフットボールを活用したまちづくりを推進するとともに、川崎をアメリカンフットボールの拠点にするための取組を進めます。

・アメフトを活用した まちづくりの推進	12,010
・アメフトを活用した 川崎区のイメージアップ	613
・アメフトを活用した 中原区の活性化	1,349

地域資源を生かした 各種スポーツの推進



平成23年5月に国際陸上競技大会、6月に日本陸上競技選手権大会(混成競技)が等々力陸上競技場で開催されるほか、トランポリンの国際大会であるトランポリンワールドカップシリーズがとどろきアリーナで開催されます。川崎マリエンにおいてJOC認定競技別強化センター登録に向けた施設整備を行うとともに、ビーチバレー場でJBVツアー本戦が開催されます。

・国際陸上競技大会の開催	41,500
・日本陸上競技選手権大会 (混成競技)の開催	400
・トランポリンワールドカップ シリーズ川崎大会の開催	5,000
・JOC認定競技別強化センター登録 に向けたトレーニング施設整備	5,670
・JBVツアー本戦の開催	14,000

ホームタウンスポーツ



ホームタウンスポーツ推進パートナーと協働して、子どもたちへの実技指導や、ホームゲームへの市民招待など、スポーツを通じたまちづくりを進めます。

・ホームタウンスポーツ推進事業	5,052
親子サッカードリーム教室の開催 (中原区)	2,663

生涯スポーツ振興・推進



市民ひとりひとりがスポーツに親しめる「健康スポーツ都市かわさき」の創造をめざします。

・川崎国際多摩川マラソン及び 多摩川リバーサイト駅伝等 総合型地域スポーツクラブの育成	22,400
・川崎市体育協会の支援	558
・スポーツ振興基本計画の策定	6,610
・スポーツ教育の推進	5,000
	83,810

ホームタウンスポーツ推進パートナー

- ・NECレッドロケッツ (バレーボール)
- ・川崎フロンターレ (サッカー)
- ・東芝ブレイブアレイス (野球)
- ・東芝ブレイブサンダース (バスケットボール)
- ・中田大輔選手 (トランポリン)
- ・富士通フロンティアーズ (アメリカンフットボール)
- ・富士通レッドウェーブ (バスケットボール)